

日時：令和6年2月19日（月）14：00～

場所：大阪府立東住吉総合高等学校 TRYルーム

1. 開 会

2. 学校長挨拶

出席委員紹介

大阪市立摂陽中学校長 柿花 正信 委員

喜連西地域活動協議会会長 東 春年 委員

東住吉総合高等学校陽親会会長 宮崎 日和 委員

東住吉総合高等学校PTA会長 坂井 円 委員 計4名

※欠席 (株)富士精機代表取締役 田村 孝 委員長

大阪芸術大学短期大学部教授 福井 康雄副委員長

※委員長、副委員長がご不在のためこの後の司会進行は本校金城教頭が代行。

3. 協 議

(1) 保護者からの意見の提出状況

2月19日時点、意見書の提出はなし

(2) 学校教育自己診断について

全体的には年々の肯定的割合が増加傾向にあり、今年度に関しても前年度より増加している。また、学校目標を達成しきれていない項目についても、達成まであと少し。

生徒の回答では、肯定的割合が年々増加している。とりわけ「東住吉総合高等学校に入学してよかった」の項目では8.7%増加しており、教員の教材研究やICT機器の導入が向上につながっているのではないと思われる。

保護者の回答では肯定的割合が大きく上昇となり、特に学校行事の項目では生徒用では微減していたのに対し、保護者用では増加していた。

教員用では微量減ではあるが特別配慮するような部分はない。

(3) 分掌・年次報告

・教務部

19期生の系列選択結果で英数系列が例年より増加し、進学者が増えるのではないかと予想している。

・生徒指導部

遅刻や欠席者が増加傾向にあり早急に対応する必要がある。自転車マナーに関して安全面で心配な運転が目立つので、雨具置き場を完備するなどをしなければならない

・進路指導部

17期生の学校斡旋33%から40%に増加したが、4年制大学25%から20%に減少、専門学校も32%から17%に減少している

就職先1次内定率は92%と高い水準となっている

・保健指導部

2/19時点でコロナ感染者91名、インフルエンザ310名となり、1月だけでもインフルエンザは爆発的に増加している

マスク着用の義務化がなくなり、免疫力が低下しているのではないかと考えられる
SSWが今年度より来校され2/19時点で10名が利用した

・総務部

卒業式はコロナ前に完全に戻り、歌の復活、在校生の参加ができるようになった
PTA研修では21名が参加、芸術鑑賞は「かつ弁士」に来ていただき、難しい内容ながらも生徒には好評だった。スイーツ教室には25名が参加、喜連西小学校ボランティアには51名の生徒が参加し、地域公開講座には16名の生徒が参加し、28名の来場があった。

新入生の物品購入において、次年度は多少値上げが発生するが、再来年度からはほとんどの商品が値上げ予定である。

・生徒会

部活動加入率が39%となっており、増加傾向にある

今年度より対面式を実施し、体育祭・文化祭では300人を超える来場者があった

・3年次

1年次から感染症による休校等の影響を受けて、行動制限が多い状況で高校生活をスタートさせた。学校生活全般でも制限が多かったが、生活リズムを崩す生徒も多く、3年間を通して、欠席が多い学年となった

・2年次

学習指導要領の新課程を開始する学年であった。学習評価や授業内容において、3観点評価の影響も受けた。2/19時点では就職希望40%、進学希望50%となっている

・1年次濱田主任

学校生活を充実させるために、教育相談を活用している。

(4) 令和5年度学校評価（案）について

承認されました。

(5) 令和6年度学校経営計画（案）について

承認されました。

4. その他

・委員より高校と地域の関わりが薄くなってきているので連携をもっと強めてほしいとの要望があった

⇒今後、行動制限が解除されることによって、コロナ前の状況までは進めてゆきたいと考えている。また、地域の行事が復活すれば、学校に声をかけていただきたいようにお願いした。

・挨拶をしてくれる生徒が増えている。良い傾向である。

・教員向けの学校教育自己診断学校評価アンケート項目の「初任者や若手を育成する体制・・・」の数値が低いのが心配であるとの指摘を受けた

⇒初任者研修などが、レポートになり他の教員からの指導機会が減っている。しかし、学年主任や分掌、教科、全般において指導声掛けは意識して行っている。

・PTAとして取り組めることをしていきたい、できる環境づくりをしたいとの要望があった

⇒大変心強いお言葉をいただき、ありがたい。今後もよろしくお願いいたします。

5. 学校長より 謝辞

6. 閉会